

# 令和6年度 景気動向アンケート調査集計 (R6年7月～9月)

## 1. 調査の概要

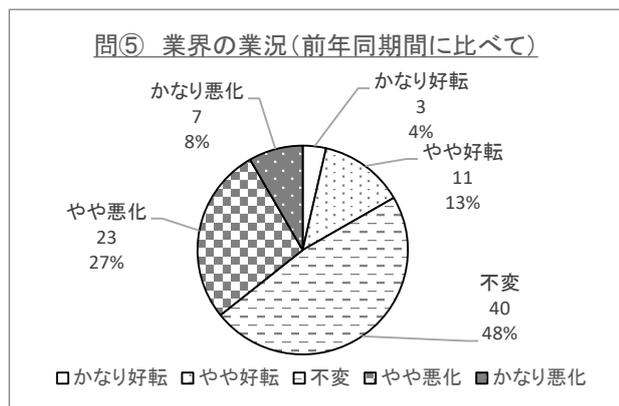
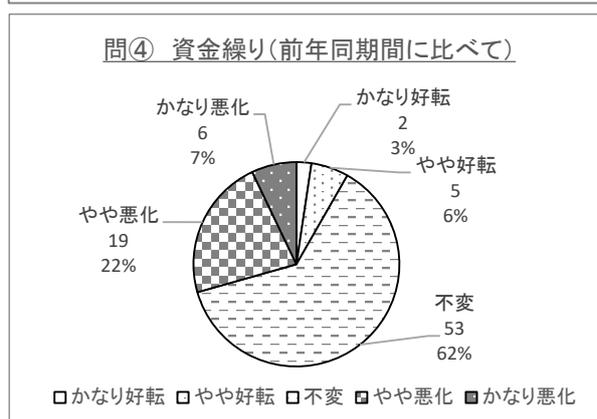
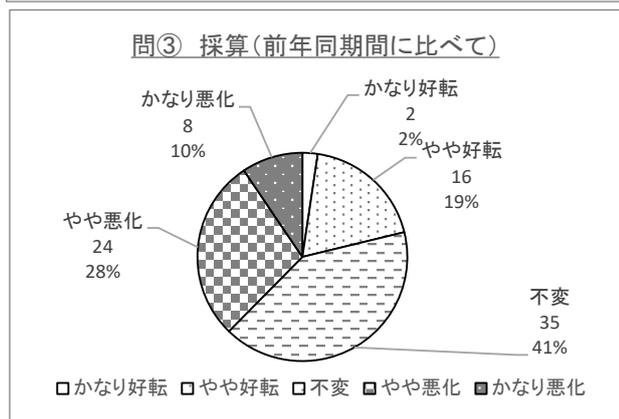
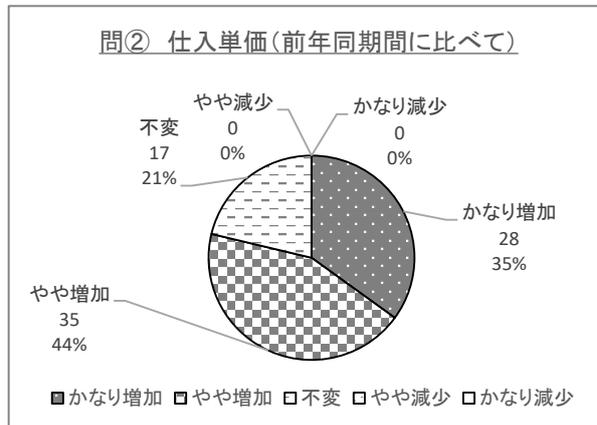
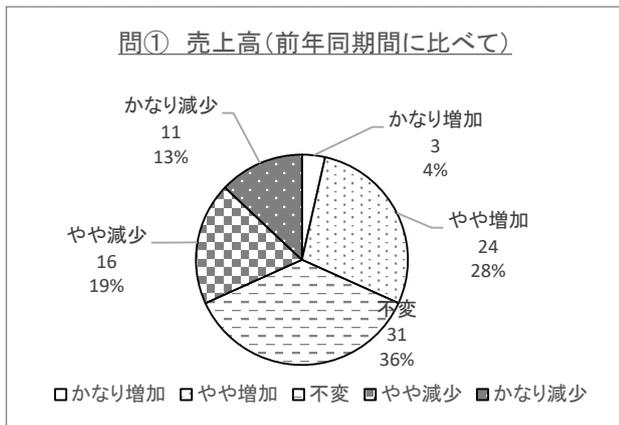
調査目的 : 第3期春日市商工会経営発達支援計画(令和5年3月認定)に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法 : 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間 : 令和6年11月1日～令和6年11月18日

回答数 : 85事業者

## 2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	3	24	31	16	11	0%
②仕入単価	28	35	17	0	0	79%

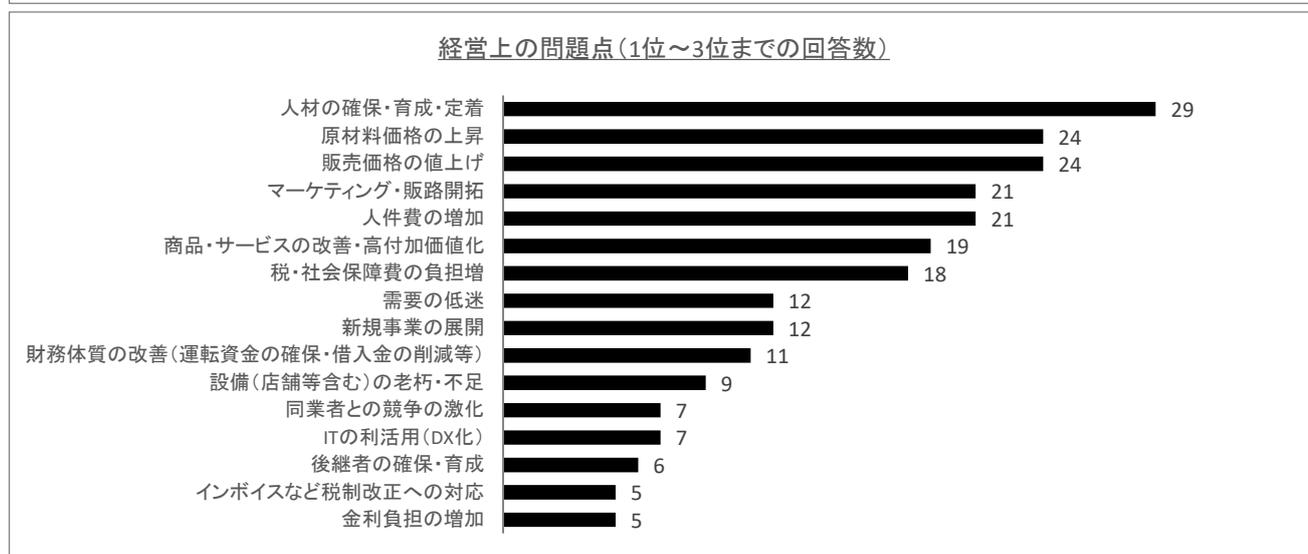
  

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	2	16	35	24	8	-16%
④資金繰り	2	5	53	19	6	-21%
⑤業界の業況	3	11	40	23	7	-19%

【D.I】  
 企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。  
 $D.I = 「選択肢(かなり増加)の構成比 + 選択肢(やや増加)の構成比」 - 「選択肢(やや減少)の構成比 + 選択肢(かなり減少)の構成比」$

- ☑ 売上高について、前回調査結果では35%の事業者が増加したと回答していたが、今回は32%となり、-2ポイントとなった。しかし、売上が減少したと回答した事業者は31%となっており、前回調査結果から6ポイント改善している。仕入単価については、増加したとの回答は79%にのぼり、物価高の影響が続いていることがうかがえる。
- ☑ 採算においては、悪化したとの回答が37%(前回43%)、資金繰りにおいては29%(前回30%)となっている。前回調査結果では、13%の事業者が資金繰りが好転した回答していたが、今回は8%となった。
- ☑ D.I値の分析においては、前回調査に引き続き、業界の業況が-19%と厳しい状況が続いている。

### 3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- 1位のみ)の回答数で、前回までは「人材の確保・育成・定着」が最も多い回答だったが、今回は「原材料価格の上昇」が最も多くなった。また、人件費の増加を1位と回答した事業者の割合は14%(前回3%)となった。全体については、今回も「人材の確保・育成・定着」が最も多くなっている。「原材料価格の上昇」と「販売価格の値上げ」も上位になっており、原材料価格の上昇分を価格に転嫁することの難しさがうかがえる。
- 前回の調査結果と同様に、「人材の確保・育成・定着」「マーケティング・販路開拓」「原材料価格の上昇」が上位を占めていることから、人手不足、物価高等の影響への対応、マーケティング・販路開拓への取組が共通課題となっていることが想定される。前回からの変化点としては、「人材の確保・育成・定着」と他回答の差が少なくなっていること。前回調査では中位だった「販売価格の値上げ」が上位となっていることが挙げられる。